

ホンジュラス事務所便り

(2019年8月号)

【目次】

- | | | |
|-------------------------|--------------------------|-------|
| 1. 一般無償「コマヤグア市給水施設拡張計画」 | (株)TEC インターナショナル、コンサルタント | 福島 信治 |
| 2. 「マルカラより」 | 2018 年度 2 次隊 | 戸塚 真歩 |
| 3. 特集:元協力隊員インタビュー | JICS 職員 | 八尾 友樹 |
| 4. 離任//着任の挨拶 | | |
| 5. 安全コラム | 企画調査員(安全) | 中川 透 |
| 6. 事務所の動き | | |
| 7. 編集後記 | | |

土木やの思い出

一般無償「コマヤグア市給水施設拡張計画」 (株)TEC インターナショナル、コンサルタント 福島信治

私は 1972 年に大学を卒業しゼネコンに入社しました。日本がイケイケどんどんの時 同時入社 200 人余、土木だけで 50 人という時代です。入社後は都内で所謂“都市土木”に従事していました。地下鉄が主で“表参道駅”“要町駅”その後“水天宮駅”等です。1979 年 突然海外への機会が訪れました。イラク共和国での”イラク高速道路 No.1/9A/9B 工区“工事です。道路延長 123Km、幅員≒41m という長大なものです。1979 年 12 月箱崎でチェック インし成田から JAL で赴任しました。バンコックーカラチーテヘラーンーバグダッドという経路です。その時 イランで革命隊がテヘラーンのアメリカ大使館を占拠し世界は緊張した状況でしたが 私はのんびりしたものでした。バンコックでは機材を抱えた報道機関が大挙して乗り込んできました。しかし 飛行機はイラン高原上を普段のように USA の音楽を流しながら 悠々とテヘラーン空港に着陸しました。テヘラーンは雨でした。報道機関員は機材を抱え ここで降機しました。あと 1 経路でバグダッドです。これが最初の海外赴任でした。

計 5 年半のイラク勤務でした。帰任後は東京、千葉、茨城で土木 PJ(注:プロジェクト)をしていましたが 1995 年突然 ドミニカ共和国への赴任が決まりました。”西部 3 県給水計画“PJ で これが ODA 工事の始まりです。社は毎年 希望の進路の要望をとっていましたが 私はいつも 1, 2 に海外工事を上げていました。しかし、この頃は ODA とは等 考えたことはありませんでした。一度 最初の PJ でコンサルさんに(”ODA とはね・・・)と教育されたことがありました。

その後 現役時代は PNG(2 件)、ニカラグア、バヌアツ等で PJ をこなしました。2005 年 コンサルタントに変わりパラグアイ(円借)、マリ(無償 2 件)、ホンジュラス(首都圏地滑り対策計画)ギニア(無償)、サモア(無償)、そして今度の再ホンジュラス(コマヤグア水)です。土木や 47 年のうち海外は(現役: 15 年、コンサル: 14 年)29 年になります。

海外での勤務は実の世界を肌で感じる事が出来、メディアに抛らず ある程度 自分の意見を持つ事が出来ることでしょう。判断に納得感があります。

例えば 1980 年 9 月 22 日、朝 6 時前 砲弾の音でキャンプは目が覚めました。朝の挨拶は“今朝のあの音は何だったんだ。”でした。イラン・イラク戦争の開始です。イランの航空機はファントムでしたが イラクの戦闘機は仏のミラージュ、露の

ミグでした。逆ではありません。世界の实態が身近です。

また イラクの土漠の酷暑(6月-9月の4か月)は47度です。西アフリカのマリ、ギニアよりも厳しい暑さです。そして初めて朝靄の中のユーフラテスリバーを渡河した時の感動、またコンサルタントは西独の会社でエンジニアは多くの国から来ていましたが 東独、ポーランドの人達は非常に親日でした。技術的にもリーズナブルな対応をしてくれました。またトルコを旅した時は1人旅でしたが色々親切にして貰いました。タクシーの運転手は60歳前後でしたが40歳前の私をブラザー、ブラザーと呼んでいました。またこの時世界史を知らない私はトルコ西側はギリシャ文明の真ただ中だった(ソクラテス等)。ということを知りました。そしてトルコが親日の1つに和歌山での難破したトルコ船(エツルール号)の救出がありますがその奥にはロシアに遣られていたことを日露戦争で日本がロシアを叩いたことが大きいようです。ビール(東郷)も有名でした。

初めてのカリブ・ドミニカ(共)で聞いたラテンの匂い、キューバ・ハバナのトロピカーナの踊り等 現地で肌で初めて感ずるものです。2000年ころからODAの意味を感ずるようになりました。海外で業務する日本人の印象がその国の対日本に繋がります。ODAも以前とはその規模、その内容も違ってきていると思いますが自分の人生は1つでまた今でないと出来ないこともありますから悔いの残らないよう遣っていきましょう。



法面保護工事



浄水場工事全体(進捗度 30%)

なお福島さんは7月に帰任されました。



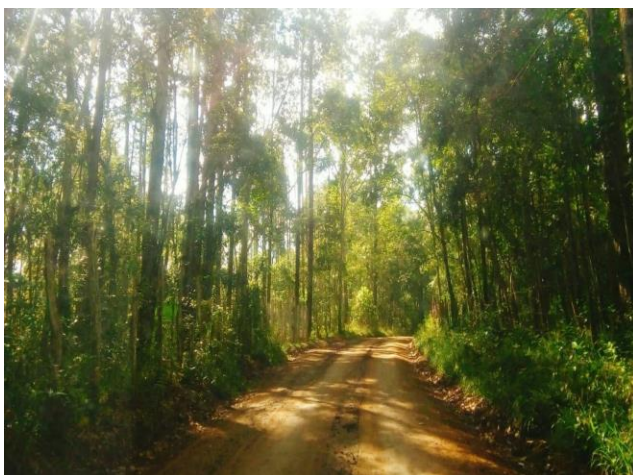
「マルカラより」

2018年度2次隊

戸塚 真歩(助産師)

長い雨季に入り、みなさまいかがお過ごしでしょうか？

赴任後半年で初めて迎えるマルカラの雨季は、短時間でバケツをひっくり返したような土砂降りの雨が基本のようで、トタン屋根の我が家では、叫ばないと会話が出来ないほどの雨音になります。



そのマルカラは首都テグシガルパよりバスで3時間半の場所に位置し、ラ・パス県内の中でも比較的大きい街です。すでにご存じの方も多いと思いますが、コーヒー生産地として海外からも視察に来るほどの人気を誇っています。コーヒー生産者の増加と同時に、カフェを営む人も増え、赴任後から半年の間に新たに3店舗カフェができ、観光地化がさらに勢いを増しています。一方で、少し中心地から離れれば、森林浴が出来るほどの自然にも囲まれた街です。自然も残しつつ少しずつ変わっていくこの街が、私はけっこう気に入っています。



配属先は分娩待機施設、分娩施設が併設された母子保健センターです。先月の赴任後半年を境に同僚と共に本格的に活動を始めました。同僚指導の他に、分娩待機施設「妊婦の家」では、医師とともに妊娠中から分娩までの生活指導、また市内3か所、高校の高学年を対象に人生設計を中心にした

性教育授業を計画し、教員と相談を重ねています。半年経った今でも、考え方や価値観の違いに驚きの日々ですが、1ミリでも進めれば「上手くいった」と思う毎日です。

業務外の活動では、日々美味しいカフェとケーキを探す活動に力を入れています。赴任後半年をかけて、カフェネグロなら●●、ラテなら▲▲、ケーキは■、とその時の好みに合わせて選べるまでになりました。最近、まるで都会にいるような写真映えするおしゃれカフェを調査中です。ですが同僚に連日のカフェ通いがバレて、見兼ねて「ダイエットしよう」とよく言われます。ホンジュラスでの生活にすっかり馴染んでしまい、安心しきっていました。気が向いたら始めようと思います。



また、ホームステイ先では食を通して文化交流もしています。料理好きなお母さんは、毎週ホンジュラスの家庭料理を披露してくれるので、私も日本料理でお返ししたりしています。同僚にも日本のおせんべいといった日本のおやつを体験してもらったりしました。日本の食に興味を持ち、おいしいと言ってくれる、ちょっとしたことですが自分の文化を受け入れてもらえることはやはりうれしいものです。さらにはホームステイ先でラーメンを1から作りたい、との希望で一緒に作ってみました。もともとは中国の麺料理が日本で発展したのですが、今ではフェスが開かれるまでに人気・知名度が高まったラーメン。今まで食べる専門だったので、私も作るのは初めてでした。結果は画像を参考に頂き、ご想像にお任せしたいと思います。

最後に、このところ医療・教育従事者団体、大学、警察、反政府組織によるストライキ、デモ、クーデターの記念日が相次ぎ、ピリピリした空気を感じた今年の上半期後半でした。私の配属先でも首都でのストライキに参加する同僚がいました。これらの抗議活動や政府の動向によって子どもたちの教育、病院での診療業務が妨げられ、学びの場や守られる権利、主張する権利が脅かされていることは事実です。ですが、これがそれぞれの生活、国民の権利を守るためであると思うと「何が一番正しくて、良いのだろう」とよく考えます。私には最近の情勢でさえ理解するのは難しいことですが、長い歴史とつい10年前までクーデターがあったということも踏まえると、解決するためにはそれ以上の時間、労力、話し合いが必要になることは間違いありません。それでも、ホンジュラスの国と人がそれぞれに良いと思える方向へ少しずつ進んでいけることを願い、私のホンジュラスだよりとさせていただきます。





特集：元協力隊員インタビュー

元青年海外協力隊員の八尾友樹さん（平成 18 年度 2 次隊・職種：小学校教諭・任地：エル・パライス）が 6 月初旬に業務出張でホンジュラスに 10 年ぶりに里帰りをされました。

JICA 事務所を訪問した八尾さんにインタビューを行いました。

●当時の活動について

基礎教育強化のための PROEPA というプロジェクトの隊員として活動しました。同プロジェクトの一環で授業参観を取り入れ保護者の協力を高めたり、算数教育の強化に努めました。1 年目は複数の学校を巡回しながらプロジェクトを広める活動を行い、2 年目は指導校を絞って活動しました。

●ホンジュラスでの活動中に印象に残っていること

任地の人柄、みんなが優しくったのが印象に残っていて懐かしく思います。一方、活動の中では学校の先生たちのストライキが多かったことを覚えています。また、田舎の方は複式学級で、十分な先生がいない状況でした。

そして、生活を通してどこでも生きていけるような強い身体になったと思います。

●現在のご職業について

一般財団法人日本国際協力システム（JIGS）に勤務しています。主に無償資金協力（ノンプロ型）の調達代理機関として、被援助国政府の代理人として入札会を開き、適切に資金が使われるよう調達業務を行なっています。

●今回の出張の目的

干ばつ対策資機材の調達のための準備を行います。中南米地域を担当する部署にいますが、今回ホンジュラスへの出張は初めてです。この後はキューバへ行く予定です。

●活動終了後から現在の職業に携わるようになった経緯

大学卒業後は、民間企業で求人広告の営業を経験し協力隊に参加。協力隊に参加したのは、将来的に教育に携わることを見据え、様々な経験を行いたいと考えていたためでした。

帰国後は、実際に小学校と中学校で計 3 年間教壇に立ちました。しかし、協力隊を経験したことで国際協力の魅力を知り、現在の会社に転職し 7 年目になります。

日本国内では、入札図書の作成など地道な仕事が多いです。年に数回、出張で現場に出ることができ、自身の仕事が途上国で活用されていることを直に知ることができるのが嬉しいです。

●今後の夢やホンジュラスとのかかわり方

今回、10 年ぶりにホンジュラスに戻ってこられて大変うれしいです。

業務に関わることでは、今回の出張の目的である干ばつ支援の機材を有効に使っていただきたいと思います。プライベートでは、2 歳になる娘とホンジュラスやいろんな国に行ってみたいです。

協力隊を経験し、当初思い描いていた進路とは違う道に進まれた八尾さん。

隊員時代から変わらない事務所も懐かしがっていました。インタビューでは、業務を通して途上国の役に立ちたいという気持ちをいつも持たれている真摯な姿勢が垣間見えました。（おわり）



八尾友樹さん



打合せ中の八尾さん



協力隊員時代の一枚





離任の挨拶

「¡Gracias y Adiós, Honduras!!」

JICA ホンジュラス事務所員

鈴木 央

2019年8月に離任致します。JICA関係者の皆様、在任中は大変お世話になりました。2016年1月の赴任でしたので、3年7か月間の滞在ということになります。ホンジュラスは治安の悪さで有名になってしまったこともあり、外国資本の進出も限られてグローバル化の波に乗り遅れていて開発の進み具合もいまひとつですが、だからこそ残されている良さ（豊かな自然や昔の街並みなど）がたくさんあります。また素朴でやさしい人も多く、このなんだか「ほのぼのしたホンジュラス」に私も癒される機会が多かったように思います。治安は今すぐにもよくなって欲しいですが、この国の良さはいつまでも失ってほしくないですね。¡Gracias y Adiós, Honduras!!



（ホンジュラスとは関係ありませんが・・・）パナマ協力隊時代（1994-95年）にお世話になったホームステイ先の家族と。この7月に5年ぶりに再会したら家族が一人増えてました！！



ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト専門家 稲川 武

2018年7月より1年間、生物多様性保全／業務調整の専門家としてラ・ウニオン生物回廊プロジェクトでお世話になりました。赴任前は周囲から治安など色々と心配されましたが、実際来てみると非常にフレンドリーで穏やかなホンジュラスの同僚や友人に囲まれ充実した日々を過ごすことができました。プロジェクトにおいては、尊敬する上司やカウンターパートとプロジェクト終了後に向けた出口戦略について日々議論したことにやりがいを感じました。また、ラ・セイバ市で開催された第2回生物多様性国家会議でプロジェクトの発表・パネルディスカッションに登壇したことは貴重な経験となりました。近い将来、ホンジュラスに戻れることを楽しみにしています。



着任の挨拶

**ラ・ウニオン生物回廊プロジェクト
業務調整/生物多様性保全 田中直樹**

ラ・ウニオン生物回廊プロジェクトの業務調整として7月2日に着任しました。なんと、協力隊時代も含めてホンジュラスに3回目の赴任となります。これはもう運命としか言いようがありません(笑)。¡Gracias a Dios!

当プロジェクトは終了まで残り1年半を切りました。カウンターパートや地域関係者のみで活動を継続できるような仕組みと計画づくり、ホンジュラスの生物回廊管理のモデルとなるガイドラインの作成等、これからが正念場です。大好きなホンジュラスのために、尽力させていただきますので、改めまして、どうぞよろしくお願いいたします！





「安全コラム」

企画調査員(安全)

中川 透

皆様、こんにちは。安全担当の中川です。最近、「お祈り」する習慣が身につきました。4月末ごろより、ホンジュラス議会が教育と医療関係の民営化や解雇に関する法律の制定を試みたことに端を発し、全国の多くの場所での道路封鎖とデモが発生してきました。混乱は6月末まで続きました。安全担当としては、抗議活動やデモなどの騒動が発生して欲しくありません。朝起きると、「今日は何も起こりませんように」と祈る毎日です。

さて、シツコイですが、公用旅券の取り扱いについてのリマインドです。



(旅券紛失事故防止6ヶ条)

- (1) 携行時は肌身離さず。(パスポートホルダー等を使用する。)
- (2) 他の貴重品と一緒にしない。
- (3) 使用後は、施錠可能な金庫等にしまった事を確認する。
- (4) 不要時は携行しない。
- (5) 家族の旅券にも気を配る。
- (6) 旅行中は気が緩みがち。特に注意する。

また、公用旅券の記載事項(氏名・戸籍)に変更が生ずる(又は生じた)場合には、在外事務所もしくは国際協力人材部派遣管理センターに速やかに報告願います。



「事務所の動き」

- 8月2日 市連合会廃棄物管理能力強化(GIRS 2)最終処分場開所式@サンミゲリート
- 8月4日 伊藤所員着任
- 8月5日-6日 算数隊員・教育省合同算数研修(5県計100名の教員対象)
- 8月8日 ボランティア中間報告会
- 8月8日 市連合会廃棄物管理能力強化(GIRS 2)プロジェクト終了式典@テグシガルパ
- 8月9日 鈴木所員離任
- 8月9日 2019年度第1回「安全対策連絡協議会」





編集後記

7月、一時帰国しました。首都テグシガルパでは気分になんて歩けないため、東京や地元（福岡）を歩きました。散歩中、喫茶店やカフェでホンジュラスコーヒーを見ることが多く、以前よりも“ホンジュラスのコーヒー”が浸透している気がしました。（写真は街で見つけたホンジュラスコーヒーです。）



さて、以前紹介した協力隊 OG 今井英里さんが愛媛県に開店予定の珈琲焙煎所は、8月10日（土）に在日ホンジュラス大使を迎えオープニングセレモニーが行われると連絡がありました。ホンジュラスの豆だけを取り扱う、日本でも珍しい珈琲焙煎所。今後の活躍に注目していきます。

また、10年ぶりに出張で里帰りされた八尾さん。多様な分野でのホンジュラス関係者の活躍に出会い、こちらにも元気をいただきました。今後もこの事務所便りを通じて紹介していけたらと思います。事務所便りのご意見・感想と合わせて近くにいらっしゃるホンジュラス関係者情報もぜひお寄せください。



ホンジュラス事務所連絡先：hd_oso_rep@jica.go.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/JICA.Honduras/>

Web URL：<https://www.jica.go.jp/honduras/office/index.html>

事務所便りに対するご意見、ご感想お待ちしております

